

ト

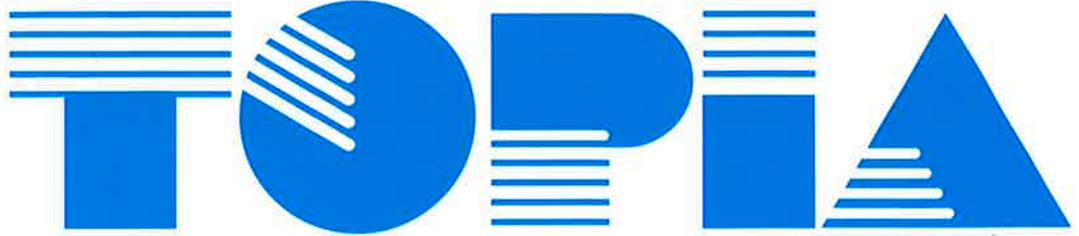
ピ

ア

第65号



2016.01



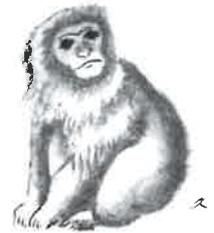
TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会 TEL：088-656-3303



謹賀新年

年頭のご挨拶



理事長 熊谷 幸三



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。

当協会は、平成2年の発足以来、本県における中核的国際交流団体として、国際交流・理解、多文化共生の促進に取り組んでいるところであり、外国人の方への観光案内や生活相談、日本語教室の開催、機関誌や生活情報誌（英語及び中国語）の発行等を行うとともに、阿波踊り「あそわ連」、中高校生と外国語指導助手との2泊3日の夏期英語セミナー、外国人による日本語弁論大会等を実施しているところであります。

さて、昨年訪日外国人は、11月末に一昨年の1341万人を大きく上回る1796万人となり、政府の目標である「2020年に2000万人」に大きく近づきました。当協会においても、観光案内等の問合せ件数は11月上旬に昨年を上回ったところであります。

また、昨年、日本チームが大活躍したラグビーワールドカップが、3年後の2019年に日本で開催されます。2020年は東京オリンピック・パラリンピック、県内に目を向けると来年、三好市でラフティング世界選手権が開催されるなど、今後、世界的なスポーツ大会を通じて、訪日、そして県内を訪れる外国人の方々が増加することが予想されます。

このような中、当協会を核として平成25年に設置した「国際戦略センター」では、今年度中（3月まで）に「フリーWi-Fiスポット」を更新するなど、訪日及び在住外国人の方々に安心・快適にご利用いただけるよう、更なる利便性向上に努めているところであります。

今後とも、こうした事業の不断の見直しを行い、地域の国際化の促進に努めて参りたいと考えておりますので、引き続き当協会へのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が皆様方にとりまして、幸多き年でありますことをご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成27年度 国際理解支援フォーラム

～異文化とのつながりを楽しむ～

今日、グローバル経済化に伴い、異なった規範や価値観を持つ人々と共に暮らすことが求められています。徳島県においても現在約70カ国、約5,000人の外国人が共に生活をしているという現状から、さらに多文化への理解を深め、地域の一員としてともに暮らすにはどうすればよいか、何ができるのかを県民のみなさんや徳島県在住の外国人の方々にいっしょに考えてもらうために、12月6日（日）に国際理解支援フォーラムを開催しました。

第1部では、元ホンダエンジニアリング（株）執行役員 タイ国バンコク市駐在（現地法人社長）の後藤 隆三氏に「海外駐在で経験した異文化（ビジネスと生活）」を演題とし、海外での生活や職場での体験談をエピソードを交えてご講演いただきました。最後に『個々の文化を尊重し合い、平等な関係に立ち、信頼し、交流することで、共に喜びを分かち合える』とホンダフィロソフィーに異文化理解の概念を置き換え、「異文化との交流も、人とのふれあいが基本、人間尊重の精神で接すれば、お互いに楽しいのでは」と意義深い言葉で講演を締めくくっていただきました。

第2部では、当協会登録の国際理解支援講師、ワチュガ アイリーンさん（ケニア出身）、ジョエル バクスターさん（カナダ出身）が自国の文化や生活の紹介、また日本（徳島）に住んでみて困ったことや、苦勞したこと、逆にうれしかったことなどの体験をお話いただきました。

第3部では、第1部、第2部を通して感じたことを、意見交換しながら、講師の方々とフォーラム参加者の交流を深めました。また、ロシア出身で当協会登録の国際理解支援講師、ドロガノワ ナタリアさんとそのお友達、ボロノワ ナタリアさん、グロス エカテリナさんがロシア民謡「カリンカ」にあわせ、華麗なダンスを披露して下さる場面もあり、いろいろな国のお菓子を囲みながら、和やかなひとときを過ごしました。

今回の国際理解支援フォーラムをとおり、新たなつながりができ、今回のテーマでもある異文化への理解が深まったのではないかと感じました。今後も多文化理解、多文化共生ができる地域であり続けるために、当協会から、さまざまなことを発信していきたいと考えています。



講演中の後藤氏



質疑応答中のアイリーンさん(右)とバクスターさん



ホームステイ・ホームビジット

当協会では徳島県地域留学生交流推進協議会との共催で、徳島県内の留学生とご家族を対象に、ホームステイ・ホームビジットを実施しています。今年度は平成27年10月31日（土）から11月1日（日）に、留学生15名がホストファミリーの方々と一緒に楽しい時間を過ごしました。

ホームステイの受入をしていただいたホストファミリーの感想を紹介いたします。

ホームステイ受入を終えて

大内 泰夫（徳島市）

10月31日の午後、2人の快活な娘さんと、1人のイケメン君が、わが家にやってきました。中国、台湾、マレーシアからの留学生です。その日が初対面だったにもかかわらず、中国語で意思疎通が出来るため、ティータイムをしている間に、すっかり意気投合、休む間もなく会話を楽しんでいました。イケメン君は、来日して間もないため、うまく日本語が話せません。しかし、日本語が達者な娘さんたちが通訳係となり、全員で会話は盛り上がりました。そして夕方には、私たち夫婦を含め、総勢5人でハナちゃん（わが家の柴犬）の散歩に出かけ、のどかな田園風景を楽しみました。

夕食は日本食にし、全員で用意しました。料理が好きな子は、調理のお手伝いをし、他の子達は盛りつけや配膳係。食後の食器の片付けも含め、みんな良くお手伝いをしてくれました。食事中も、食後も会話は弾み、私たちが寝た後も、若者達は遅くまでおしゃべりしていたようです。

だんだん打ち解けてくると、「お母さんがうるさいの



で、けんかして家を飛び出した」とか、「兄や姉のお古ばかり着せられた」等々、身近な出来事も話してくれて、どこの国の子どもも同じだなと感じました。そして、私たちは親の気持ちを代弁しました。

そんな話をしているときに、1人の子が「どうしてホストファミリーをすることにしたのですか？」と聞いてきたので、私はこう答えました。「恩返しをしているのです」と。

私は、教師をしていたときに、海外にある日本人学校に勤務したことがあります。妻と2人で、マレーシアのクアラルンプールで3年間生活しました。その間、現地の人たちにはずいぶんお世話になりました。ムスリム（イスラム教信者）の人、中国系の人、インド系の人、それぞれ生活や風習は違いますが、付き合いえば良き友人となります。帰国して15年以上経ちますが、今でもお付き合いは続いています。異国の地に住んでいると、予期せぬ出来事に会うことも何度かありました。「何か困ったときは、力になっ

てくれる友がいる」と思うと、ずいぶん心強かった記憶があります。実際に助けてもらったこともありました。

赴任前は、「国際理解とは？」とか、「国際交流とは？」等と肩に力が入っていましたが、3年間の体験を経て、「相手に好意を持ち、共に過ごす時間をお互いに楽しむことが出来る」ならば、それこそが国際交流なのだ、と思えるようになりました。

私は、日本にやってくる留学生達を見ていると、自分がマレーシアにいた頃を思い出します。優秀な学生達ですから、普段の生活は、問題ないでしょう。しかし、彼らに全く不安がないとは思えません。今回、わが家を訪れた留学生たちが、「何か困ったときは、力になってくれる人がいる」と感じてくれたら嬉しく思います。

それが、私たちがマレーシアでお世話になったこと

への恩返しなのです。

帰国するまでに、また会いましょうと約束して、お別れしました。今は、Facebookを通して、おしゃべりを楽しんでいます。



防災センター・スタディ・ツアー

平成27年9月13日（日）に在県外国人を対象として防災センター・スタディ・ツアーを開催しました。8カ国21名の方に参加していただき、県立防災センターで地震、台風などの災害疑似体験を通して災害に対する備えの重要性の認識を高めるとともに、南海トラフ巨大地震をはじめとした災害への防災意識を高めました。

最初に、防災ガイダンスのコーナーで、地震が起こった時の身の守り方、そして津波のメカニズムや特徴などが分かりやすく解説された映像を見た後に、地震、消火、煙、暴風体験をしました。

煙体験では、煙が充満する部屋の中で、鼻と口をハンカチで覆い、煙を吸わないように低い姿勢で避難訓練をしました。ほとんどの方が甘い香りを感じたようでしたが、それは煙を吸ってしまったという意味であり、実際の現場では倒れてしまったり、動けなくなったりしてしまう危険性があるとの説明を聞き、驚きを隠せない様子でした。

参加された方にはここで学んだ知識を参考として、いつ来てもおかしくない災害に対して備えて頂ければと思います。



地震体験中



消火訓練中

～ 県内国際交流団体活動紹介 ～

一般社団法人 徳島市国際交流協会 (TIA)

理事 山田 多佳子

徳島市国際交流協会は、昭和56年、「徳島市民と諸外国都市の市民とが、理解と友情の上に立って相互の交流を盛んにし、世界の平和と繁栄に貢献すること」を目的に設立され、間もなく35周年を迎えます。以下に主な活動についてご説明します。

県内在住の外国人や海外からの来徳者の方々と市民との交流の場として年に数回の国際親善交流事業を行っています。2月は新春・国際交流ダンスパーティー、春期は市内史跡巡りやサイクリング・バーベキュー、夏期は8月12日の阿波踊り、秋期は剣山登山やバス旅行、冬期は年忘れボーリング大会などです。

また市民のための外国語講座（英語・フランス語）や外国文化理解講座、外国人のための日本語講座、日本文化理解講座を行っています。

ボランティア通訳の勉強会「英語でディスカッション」と、英語のネイティブスピーカーとボランティアによる、親子のための「エンジョイイングリッシュ絵本で遊ぼう」を月1回開催。要請があれば、ボランティア通訳の派遣も行っています。

スポーツ交流事業として国際交流フットサルの練習を毎月1回開催。2014年には、サッカーワールドカップを記念して、国際交流フットサル大会を開催しました。

機関紙『国際交流』は年1回発行、また『TIA NEWS』は年4回発行し、イベント情報の案内や、外国人に必要な生活や法律などに関する記事を掲載しています。

外国人留学生に対する生活用品の貸与や、外国人への相談対応、外国語の新聞や雑誌のある図書室や談話室の整備、ホームステイの受け入れなども行っています。

徳島市は、現在、アメリカのサギノー市、ポルトガルのレイリア市、中国の丹東市と姉妹都市提携をしており、親善訪問団として、徳島から各市を訪れるとともに、各市から徳島に来る方々の受け入れや歓迎会などもおこなっています。特に、サギノー市には、現地に鷲能庵（さぎのうあん）と名付けられた茶室が建てられていて、5年ごとにTIA会員や淡交会裏千家徳島支部などが合同で同市を訪れています。今夏には姉妹都市締結55周年及び茶室建設30周年記念事業として、サギノー市を親善訪問する予定です。

今年度は、県からの委託事業として、48時間の日本語指導ボランティア養成講座（文化庁事業）を開催し、増加する外国人のニーズに対応すべく、育成に努めています。

今後とも更に多くの方々に、国際交流に関心を持っていただき、共に協力し理解し合って楽しく生活できるよう、様々な活動を行っていきたく思っております。

TIA問合せ先

URL: <http://www.tia81.com>E-mail: info@tia81.com

新春・国際交流パーティー



阿波踊りの様子



フットサルチーム



剣山登山



The Tokushima AJET Musical



AJET徳島英語ミュージカル監督
アヤナ クロフ

ギリシャの神々、ゴスペル曲、鬼のカップル、徳島県でのワクワクするような旅…、すべてに共通する点は何でしょうか？これらはすべて2月28日(日)開演のAJET徳島ミュージカルでご覧になれます！

AJET徳島ミュージカルは今年の2月に22周年目を迎えます。日本で外国人が主となりミュージカルを通じて地域貢献をしている活動としては一番長いものとなります。AJET徳島ミュージカルのキャストとクルーはボランティアで構成されています。

毎年、多くの県民の皆様へ愛されるミュージカルを上演しています。AJET徳島ミュージカルは、非営利目的のため、入場無料となっております。

このミュージカルは、地域社会で英語を勉強する楽しさとワクワクするような機会を皆様に体験してもらうことを目指しています。キャストとクルーは、語学指導等を行う外国青年招致事業（JET）の参加者だけでなく、徳島県内の在住外国人と日本人のメンバーで構成されています。ミュージカル上演のために、ボランティアたちは、台本を書き、衣装や小道具を作成し、ダンスの振り付け、そしてリハーサルを行い、よりよい作品作りのための努力を惜しみません。

ミュージカルのオーディションを昨年10月に行い、素晴らしいキャストたちが決定しました。そして、1月から小道具、セット、衣装の準備作業、そしてリハーサルを開始します。

この春、AJET徳島は、有名なギリシャの英雄ヘラクレスに基づく物語と1997年に公開されたヘラクレスのアニメ映画を参考に、オリジナリティに溢れたストーリー展開のミュージカルを開催いたします。昨年と同様に、英語の歌と楽しい踊りを披露します。AJET徳島ミュージカルは、大人から子供まで楽しめるようにストーリーをわかりやすくし、日本語を交えて分かるようにしているので、パフォーマンスを楽しむことができます。そして、ストーリーに日本の文化や徳島ならではの地名や言葉などを盛り込んでいます。

今回のミュージカルの内容は、英雄ヘラクレスが赤ちゃんの時に誘拐され、徳島県の真ん中に置き去りにされることから始まります。ヘラクレスは天に戻るために、彼が真の英雄にならないと知りました。ヘラクレスは英雄を育てる気難しい鹿のフィルを見つけるため奥深い山々に囲まれた祖谷に向かいます。しかし、ヘラクレスが真の英雄となるために一生懸命がんばっている時に、冷酷な死神ハデスとその手下の鬼のカップルとメグという女性が天を乗っ取ろうとします。この物語はゴスペル界のカリスマ的存在のグループ「ミューズ」によってナレーションされます。日本の民話とギリシャ神話とがユニークに融合され、今年のミュージカルを盛り上げます！

「Hercules: アワ・ヒーロー ～ギリシャ神話のヒーローが徳島に！～」は2月28日から3月20日にかけて公演し、



徳島県内の6カ所で上演します。AJETミュージカルはすべての方がわかりやすい英語を聞きながら楽しむことができますので、是非、お越しください！今年のミュージカル、または過去に行ったミュージカルの詳細につきましては、<http://www.ajetmusical.com/about>をご覧ください。また、私たちのFacebookのページ(<https://www.facebook.com/AJETMusical>)で、今年のミュージカルのVIP席のチケットが獲得できる情報を掲載しますので、目を光らせておいてください！

皆様と公演会場でお目にかかるのを楽しみにしています！



アヤナ クロフさん(右)



ミュージカルのオーディションの様子

徳島の技術で世界を変える JICA×中小企業の海外展開



JICAでは、日本の企業が持つ優れた技術・製品を開発途上国が抱える課題に活用するため、海外展開を目指す企業の皆さまを支援しています。

徳島県企業の皆さまとの窓口として、TOPIA内のJICA徳島デスクでは企業の海外展開の準備段階に応じた支援メニューを取り揃えていますので、JICAとの連携や中小企業支援にご関心をお持ちの皆さま、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



(プエルトガレラ市関係者と喜多機械産業株式会社の皆さん)

今回は、JICAの中小企業支援の一つである「普及・実証事業」をフィリピンで実施している喜多機械産業株式会社（徳島市）の事例をご紹介します。

大小様々な島が点在するフィリピンの未電化村落における世帯電化率は、未だ約70%に留まり、電気料金が安いディーゼル発電に依存しているため、住民の家計を圧迫しているのが現状です。

同社は、このような課題を解決するため、ミンドロ島プエルトガレラ市においてマイクロ水力発電を利用した飲料水供給、観光地のLED照明設備設置、電動三輪車等の導入を行ない、衛生面の改善、観光振興を目的としたコミュニティ開発事業を実施しています。

事業を開始して2年が経過。今後はこれらの技術・製品の普及を図るべく同国のみならず周辺諸国へのビジネス展開に取り組んでいます。



小水力発電機（阿南高専製）据付の様子



浄水機設置の様子



滝の観光施設にLEDを設置



今年6月のオープニングセレモニーでは、政府関係者、住民、観光客など約50名が参加

お問合せ

JICA徳島デスク（TOPIA内）久保

電話：088-656-3303 メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募集中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめとする、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による多言語電話 相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごさいます。是非、ご活用ください。

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口3,000円/年度

団体会員 一口5,000円/年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

機関誌「TOPIA」記事募集中!

当協会に登録されている団体で、機関誌「TOPIA」に掲載する記事を募集しています。貴団体の国際交流活動等を紹介しませんか? 詳しくは当協会までお問い合わせ下さい。

「多文化共生の社会づくり」 パネルを貸し出します

あいぼーと徳島と当協会では、外国人の方の人權にスポットをあてた人權啓発パネルを作成しております。講演会や研修会などの際に、このパネルと一緒に展示しませんか? 無料貸出しいたします。当協会にお申し込みください。



在住外国人の方対象の 「防災出前講座」をご活用下さい!

当協会では、近年危惧されている南海トラフの巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。* 申込は当協会まで。



防災出前講座の様子

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
クレメントプラザ6F

Tel : 088-656-3303

Fax : 088-652-0616

URL : <http://www.topia.ne.jp>

Email : topia@topia.ne.jp